

平成30年度第3回学校運営協議会議事録

実施日時 平成31年2月2日（土）9:00～10:40

実施場所 校長室

出席者 委員4名、事務局4名（校長、教頭2名、事務長）

I. 校長あいさつ

- ・インフルエンザが流行しており、他校では学級・学年休業となっているところもあるが、本校では加温を徹底していることもあってか罹患が少なく、現在のところ休業には至っていない。
- ・沖縄への修学旅行を1月26日から28日に実施した。軽いけがのみで、特別な指導を行うこともなく、参加生徒全員がよく楽しめた。特に2日目のレクレーションがこれまでにない盛り上がりであった。来年度の修学旅行については、宿泊行事検討委員会を立ち上げた。行先を決定した後は3年間同一方面で実施することで、内容の充実と経費削減を図る方向である。
- ・昨日で3年生が学年末考査を終えた。3年生の就職内定者については考査終了後、激励会を実施した。内定者は3月中旬よりそれぞれの企業に研修等に参加していく。1・2年生は1人も留年させない、という思いで最後の指導をすすめている。
- ・入学者選抜の時期が近づいており、校内は緊張感を増している。

II. 協議

① 平成30年度学校経営に係る自己評価（案）について

●第2回授業アンケート結果について

- ・全体として1回目よりポイントが高くなった。
- ・1回目が高い数値だったが、2回目はさらに上がった。

学校平均 1回目28.74⇒2回目29.15 (0.41p増)

- ・前回ご指摘いただいた理科も上昇している。

理科 1回目27.40⇒2回目27.97 (0.57p増)

教科で改善策を検討。授業内容や到達目標の精査、課題の工夫などによる。

●学校教育自己診断アンケート結果について

- ・肯定的意見の高いもの

（北淀）「先生は、親しみやすい雰囲気を持っていて、話しやすい」74%1位

（淀清）「（同）」75%3位

丁寧な指導で、教員と生徒の関係が良好なことがうかがえる。

（北淀）「北淀高校に入学してよかった」72%2位 保護者82%1位

（淀清）「エンパワメントスクールに入学してよかった」74%4位 保護者93%3位

学校満足度が高いことがうかがえる。

(淀清)「命の大切さを学ぶ機会がある」76%2位

S T、産業社会と人間、人生設計学などの授業がよい影響を与えたと思われる。

・肯定的意見の低いもの

(北淀)「学校で、保護者や地域の人たちと関わる機会がある。41%24位

(淀清)「(同)」42%24位

文化祭、体育祭などでP T Aの方にお手伝いいただいているが、生徒にとってより身近な取組みにしていきたい。

(北淀)「私は、部活動に積極的に参加している」49%23位 昨年度は42%

(淀清)「(同)」45%23位

部活動加入率は増加したが、さらに活性化させるべく、取組みの工夫を続けていく。

●平成30年度学校経営計画および学校評価(案)

学校教育自己診断の結果と分析

- ・【学習指導等】について、学校教育自己診断の結果では、生徒・保護者からの肯定的意見が53~64%に対し、教員の「生徒のレベルに応じた分かりやすい授業にする努力をしている」が89%となっている。生徒の受け止めとのギャップを埋めるため、授業力の向上をより進めていきたい。今年度、9月に全校一斉授業見学・研究協議を実施したが、このような取組みをいっそう進めることが必要。
- ・【進路指導等】について、「学校は進路についての情報を知らせてくれる」で保護者の肯定的意見が前年度比較で下がっている。教員も「生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている」の項目で肯定的意見が前年度比較で減少している。教員のキャリア教育に対する意識を高め、生徒が満足できるようなキャリア教育の取組みを全校あげて実施していく。
- ・【生徒指導等】について、「北淀高校に入学してよかった」「学校に行くのが楽しい」では、生徒、保護者とも肯定的意見が前年度比較で下がっている。より魅力ある学校づくりが求められている。「先生は、困っていることについて真剣に対応してくれる」「気軽に相談できる先生がいる」では、生徒の肯定的意見が前年度比較で上がっているが、さらに丁寧な指導が求められている。部活動の参加率は増加したが、まだまだ低い率なので、学校運営協議会の意見も踏まえ、取組みの工夫をすすめる。
- ・本年度の取組み(1. 確かな学力の向上の取組み)では、(1)ア、イ 学校教育自己診断で肯定的評価が9%低下した。授業アンケートなどによる振り返りにより、よりわかりやすい授業の創造に努めていきたい。
- ・本年度の取組み(2. 系統的なキャリア教育の展開)では、(2)「造形」コースでさらに高い評価を得ている(3.62)。(3)検定試験を受ける生徒が増えた。
- ・本年度の取組み(3. 人権教育・国際理解教育の推進と生徒の居場所・出番作り)では、(1)「暴力/ネット/人間関係のトラブル」が昨年度より減少。人権教育の取

組みや丁寧な指導の成果と思われる。(2)ア 学校行事の満足度は減少した。さらなる内容の充実が必要であると思われる。(2)イ 部活動は加入率が前年度を上回ったものの、さらなる向上をめざし、次年度も注力していきたい。

- 本年度の取組み(4. 規範意識の醸成、家庭・地域と連携した丁寧な生徒指導の推進)では、(1)ウ 遅刻や欠席は前年度より大幅に減少している。全校あげての遅刻指導の成果と考えられる。(3)イ P T A関係の学校行事への参加は昨年度を下回った。保護者に対して学校行事などの情報発信を積極的に行っていきたい。
- 本年度の取組み(5. 教職員の資質向上とO J Tの充実)では、(1)(2)ア とくに若い教員が成長していることがあげられる。新校の立ち上がりに積極的に参加している。イ 初任者研修も担当の首席が整理し、研修を組んだ。(3)I C T機器の活用については毎日使っているが30%、必要に応じて使っているが88%。電子黒板が導入されたことと研修の成果によるもの考える。
- 淀川清流高校の本年度の取組み(4. 規範意識の醸成、家庭・地域と連携した丁寧な生徒指導の推進)(3)ウ オープンスクールの総参加人数が減少した。一人でも多くの中学生に来てもらうため、引き続き広報活動を活発に行っていきたい。

②平成31年度学校経営計画について

- 本年度の取組みの5本柱は、北淀高等学校でも淀川清流高等学校でも同じとした。順序や言葉を入れ替えたが。北淀高等学校で大切にしてきたことは淀川清流高等学校でも変わらない。
- 指標については、前年比を参考に目標値を設定した。昨年度は、前年度以上という目標の立て方をしていたが、できるだけ目標としたい数値を出したほうがいいと考えた。
- 4 人権教育・国際理解教育の推進(1)でイ「いじめの未然防止、早期発見、解決に取組む」を追加した。
- 5 教職員の資質向上と校務の効率化(3)「教職員の事務作業に係る時間を軽減する」を明記し、教員の超過勤務時間月平均30時間以下、月80時間超えをのべ30人以下にする。「働き方改革」の取組みをすすめ、今年度減少したが、さらなる減少をめざして取組みを強化していく。

〈質問〉

(委員) 校名が2つとなり、生徒たちに校名への違和感はないか。

(事務局) 特にない。淀川清流高校の方が生徒指導の規律がやや厳しく、北淀高校と比べての不満が淀川清流高校生に少しみられる。

(校長) 淀川清流高校の生徒が「規律が違うなら行事も分けてほしい」と言いに来たことがある。

(委員) 新校は2年目が勝負。エンパワメントスクールの意義や意図が生徒に伝わりにくい

感じはする。エンパワメントスクールの理念をどう浸透させるかが課題か。受験する生徒の層は変わってきていると感じる。1年目の結果を見て受験生は危機感を持っている。一生懸命がんばっている子どもとそうでない子どもがともに合格すると、入学後のモチベーションに関わる。

(委員) 働き方改革に関わって、先生方に時間外労働の感覚が弱いと感じる。生徒に伝わるので、無理してほしくない。先生がイライラしていると態度に出てしまう。生徒はよく見ているので、先生は余裕をもって生徒と向き合ってほしい。ニュースで月に100時間、200時間の残業を目にする。先生方にとって「生きがい」とのことだが、しんどいと思う。仕事を広げていく先生もいると思うが、校長、教頭が管理をしっかりすべき。交代ができ、休めるよう話をしてあげてほしい。

「PTAのかかわりが少ない」、という結果には悩む。考えていきたい。質問の仕方を「多いか」から「良好か」などと変えるなど質問の工夫をしてもらえたら結果も異なるかもしれない。

(委員) オープンキャンパスの参加者数の減少について。倍率が下がらないようがんばってほしい。2・3年と1年の指導の違いに関して、遅刻や欠席が減ったのはなぜか。

(校長) 1年の生徒は学び直したいという意欲が高い。特別指導の件数も少なくなった。

(委員) 3年の卒業生の数は何人か。

(事務局) 194人。例年よりやや少ない。

(校長) 2・3年生は心配している。全員の卒業をめざして取り組むよう話をしている。

(委員) 挨拶について。気持ちよく挨拶してくれる生徒が多い印象を持っている。数値が1番下になっているのが意外。

(事務局) 教員が毎朝校門前に立って挨拶をしている。

(委員) 挨拶項目の数値が1番低いのは残念。生徒同士の挨拶はどうか。

(事務局) 生徒同士もそれなりにしている印象。

(校長) もっと教員が声をかけてよいと思っている。校長からもっと促していきたい。

(委員) 以前に勤務していた学校でも挨拶をよく呼びかけた。あいさつ運動は続けると成果が出る。来客にも挨拶するようになると印象が変わる。

(校長) 力を入れてやっていきたい。

③校訓について

- ・11月29日職員会議で、校訓の案を募集。1月7日までに7点提出された。

西淀川高校からは特に意見なし。

1月15日本校企画運営会議で報告、西淀川高校に報告。

- ・1月17日職員会議で教職員の意見聴取。同日、西淀川高校で教職員に意見聴取。PTA、同窓会、後援会からの意見を聴取。

（事務局）4番（「自尊 自学 自律」）が最も関係者の支持が多く、これでどうかと考えている。本協議会の意見を受け、最終的には校長が決定する。

（委員）中学校では5番（「自主 自律」）のタイプが多い。4番がいいかと思う。

（委員）エンパワメントスクールの柱が反映しているので4番がいいと思う。

（委員）4番がいいと思う。それぞれの言葉に意味のわかる文章をつけると、生徒にわかりやすい。

（委員）校訓の詳しい解説を教育目標に落とし込むという方法もある。

（校長）4番にしたうえで、わかりやすい解説を考えていきたい。

Ⅳ. その他

- 次年度の学校運営協議会の案内。
- 次年度会議日程（予定）について
6月8日（土）、10月27日（日）、2月1日（土）